

【No. 1】業種店と業態店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 総合食品スーパーは、食品が中心なので典型的な業種店である。
2. パンや雑誌などを扱うコンビニエンスストアは、業態店である。
3. ホームセンターは業態店である。
4. 様々な人が利用する酒店は業種店である。

答. 1

【No. 2】Eコマースに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 情報交流が極めて早く、そのコストが格段に安くなる。
2. 市場がますます世界的になる。
3. 世界的に価格が商品により特価する傾向になる。
4. 物理的立地と商圈が不要になる。

〔解説〕世界的に価格が均一化する傾向になる

答. 3

【No. 3】TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 限定品目の関税撤廃をする。
2. 全ての財、サービス等に関するルールや仕組みを統一する。
3. 太平洋に面した国々が、自由に貿易をする。
4. 新しいビジネス形態に対応した通商ルールの構築をする。

〔解説〕TPPの原則は、限定品目等が無く全てが自由であること。

答. 1

【No. 4】 広告に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 私が広告に費やすお金の半分は、無駄だったとわかっているがどの部分の半分が無駄なのかわからない。
2. 私たちは工場では口紅を作り、私たちの広告は希望を売る。
3. 広告の最も強力な要素は真実である。
4. 広告なしでビジネスすることはありえない。

答. 4

【No. 5】 ケネディ大統領が「消費者の保護に関する特別教書」を発表し、日本にも大きな影響を与えた4つの権利に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 正確な情報が与えられる権利
2. 商品が安く購入できる権利
3. 意見が聴かれる政府や企業の政策に反映される権利
4. 安全が守られる権利

答. 2

【No. 6】 暮らしと商業に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 小売りの売り上げは、ここ数年上位500社が我が國小売業の売り上げの4分の1ほどを占め、小売企業の巨大化が進展している。
2. 取扱商品の内容により小売業を分類するのが業態であり、消費者の必要に応じて様々な商品を集積し、売り方を含めて分類するのが業種である。
3. 日本の小売業の数は欧米の先進国の中で最も人口比店舗数が多い。
4. 商品を仕入れ、消費者のニーズに合う形で販売するのが小売業の具体的な活動であり、仕入れ、品揃え、販売の3つが小売業の基本的な活動となる。

〔解説〕 取り扱い商品の内容により小売業を分類するのが業種であり、消費者の必要に応じて様々な商品を集積し、売り方を含めて分類するのが業態である。

答. 2

【No. 7】 コーヒーショップに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. フルサービス店とセルフサービス店に分かれ、セルフサービス店は、フードメニューの強化、書店やガソリンスタンドとの隣接店舗展開を始めた。
2. スケールメリットを活かしたセルフサービスチェーン店は、増加がつづく一方で、フルサービス型個人経営の喫茶店・コーヒー専門店は、減少の一途をたどっている。
3. セルフサービスチェーン店と異なりフルサービス店は、オーナーの目指す空間イメージや味を印象付けるこだわりがデザインの出発点となる。
4. セルフサービス店では、禁煙、喫煙ゾーンを分けテーブル席、カウンター席、ソファ席を店舗形状により組み合わせ、喫煙ゾーンから禁煙ゾーンへ煙りが流れるよう配慮する。

〔解説〕 喫煙ゾーンから禁煙ゾーンへ煙りの流れをつくる

答. 4

【No. 8】 フードコートに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 一般的に飲食店の数×50～60席がフードコートの席数となる。
2. 大きなショッピングセンターのフードコートは、ワンオペレーションタイプが中心となっている。
3. 繁閑格差を踏まえて、1人から多人数まで対応できる席を配置する必要がある。
4. 使用済み食器の返却口は、一カ所にまとめる場合と各店舗が受け持つ場合の2パターンがある。

〔解説〕 ワンオペレーションタイプは、メニューが固定化しやすく、味もそこそこのため、店舗毎に別個にリーシングすることが多くなっている。ただし、ワンオペレーションの場合は契約業務等がやりやすく、リーシングも楽であり、専門で展開する企業もある。

答. 2

【No.9】最近話題の商業施設等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 「渋谷ヒカリエ」は西武百貨店が運営する百貨店業態「shinQs」がキーテナントである。
2. 東京スカイツリーの商業施設部分は「東京ソラマチ」という名称である。
3. 復原された「東京駅」は、国の重要文化財に指定されている。
4. 「ユニクロ」と「ビックカメラ」がコラボレーション出店した業態の店名は「ビックロ」である。

〔解説〕渋谷ヒカリエは専門店の集積業態

答. 2

【No.10】大型商業施設の出店の際のマーケットリサーチに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 商圏の地域性・立地条件の把握と分析
2. 商圏内の消費者特性調査
3. 競合地域、競合店分析による商圏の設定
4. 施設コンセプトを踏まえた商圏データの分析

〔解説〕マーケット分析を行う際はできるだけ先入観無く実施し、マーケットを正しく把握する必要がある。施設コンセプトが先にある場合はそれが正しいかどうかを確認する作業となる。そのため施設コンセプトを踏まえた商圏データの分析は間違いとなる。

答. 4

【No.11】建築計画の各部位に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. アスファルト防水屋根の勾配は1/100～1/50である。
2. 引違い窓は最も一般的で、外側の掃除も楽にでき、既製品は安価である。
3. 避難用の扉は、居室から屋外まで、全て避難方向に開くようにする。
4. 階段の勾配は一般に40～50度が良いとされている。

【No.12】 防災・安全計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 建築基準法では、建築物を常に防災安全上、適法状態に維持管理することを義務付けている。
2. 施設の安全性は、構造耐力、防火・耐火、使用上・避難上、及び衛生上等について、確保され、維持管理される必要がある。
3. 防災上、最重要な安全確保の方法は、所有者、管理者による非常時における防災管理体制の確立である。
4. 安全確認の要点は、内外装・展示・装置・諸設備、人に対する安全、工事の安全、維持管理体制等である。

答. 3

【No.13】 照明計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 天井に直接取り付けられている照明器具をシーリングライトという。
2. LED照明は光が拡散して光る特性がある。
3. ルーメンとは光の量を表す単位である。
4. どこに、どのくらいの光が当たっているかを表したものを照度分布図という。

答. 2

【No.14】 省エネルギー関連用語に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. BEMS
2. LCC
3. ロハス

4. CASBEE

答. 2

【No.15】 設計図書に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 一般図と構造図、設備図に用いる尺度として、1/50、1/100、1/200、1/250 などが用いられる。
2. 商業施設の図面には A3 サイズの図面の使用が多く、施設の規模から、1/30～1/50 で作図することが多い。
3. 配置図、平面図等は原則として北を下にして使用する。
4. 図面に用いられる略号の GL とは基準地盤面を表す。

答. 3

【No.16】 監理業務に関連する技術動向に関する組み合わせで、次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. BIM -----ビルディングインフォメーションモデリング
2. VE手法-----バリューエンジニアリング手法
3. PFI -----プライベートファイナンスイニシアティブ
4. CM方式-----コストマネジメント方式

〔解説〕 コストマネージャーではなく、コンストラクションマネージャー

答. 4

【No.17】 設備工事において、次の用語の組合せのうち最も不適当なものはどれか。

1. 空調設備工事-----単一ダクト方式

2. 給排水衛生設備工事-----圧力タンク方式
3. 電気設備工事-----ファンコイルユニット方式
4. 換気設備工事-----全熱交換方式

〔解説〕 ファンコイルユニット方式は空調設備工事の方式である。

答. 3

【No.18】 維持管理に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 資産を保全し再活用するスクラップ&ビルドの方向へ社会全体がシフトしている。
2. ファシリティマネジメントとはアメリカで生まれた新しい経営方式で施設管理手法として活用されている。
3. ライフサイクルコストの中に建設費の占める割合は半分より低いことが多い。
4. 定期的に行う維持管理のうち、点検とは、建物の避難設備、防災設備、エレベーターなどの機械設備の定期点検などがあり、行政への報告義務もある。

〔解説〕 スクラップ&ビルドではなく、ストックマネジメントである。

答. 1

【No.19】 監理と制作・施工に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 図面を正確に読み取り理解し、各工事間の調整・打ち合わせをする。
2. 旧施設を解体・撤去する場合、同時に廃棄物の搬出・廃棄計画も立てる。
3. 工事全体の施工計画は品質管理を優先する。
4. 防災処理が必要な材料には、防災処理された物品とし、防災ラベルが付されているかの確認を行うる。

答. 3

【No.20】 建築材料に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. エココンクリートは、耐久性を求められる場合、その使用が難しいことがあるので注意が必要である。
2. インターロッキングブロックの中で保水性のあるものは、路面温度を下げる働きがある。
3. 屋根に高反射性の塗料を塗ると、室内の冷房負荷が大きくなり省エネにはつながらない。
4. リサイクル材の利用は、建築物環境総合性能評価 (CASBEE) による建物の評価に寄与する。

〔解説〕 高反射性の塗料を塗ると冷房負荷が下がる効果が期待できる

答. 3